

記事読み意見生き生き

大野市 上庄小



大野市上庄小で7日、新聞記事を読み、感想や意見を発表する校内「新聞スピーチコンテスト」があった。児童6人が国内外のニュースを読み解き、感情豊かに考えを主張。身近な話題に置き換

え、周囲への思いやりや仲良く過ごすことの大切さなどを訴えた。新聞を通して視野を広げ、思考力や伝える力を育もうと毎年開いている。予選を通った5、6年生6人が児童約100人を前にスピーチした。子どもたちの投票で最優秀賞に輝いた松森羽奈さん(6年)は北朝鮮に関する記事を取り上げ、戦争のない平和な世界を目指す自分たちに何ができるかを発表。身ぶり手ぶりを加えながら「思いやりを持って人に接すれば、市や県、日本全体に思いやりの輪が広がる」と伝えた。テロ対策訓練の記事を題材にした女子児童は「友達に嫌なことをするのもテロと一緒に、誰かを傷付けている」と話し、さらに仲が良い「上庄っ子」になることを願った。会場の児童からは「改め

て人の命の大切さを感じた」など感想が発表された。優秀賞には石黒みづなさん(6年)と白崎愛唯さん(5年)が選ばれた。(栗原愛)



新聞記事を読んだ感想や自分の考えを発表する児童＝7日、大野市上庄小